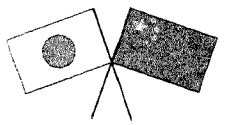


真の交流

陳暢



時の経つのは本当に早いものです。日本におり立つたばかりの様々な出来事をまだ昨日の日のことのようにはつきり覚えていますが、もう半年が過ぎてしまいました。

振り返りますと、最初は日本語もよく聞きとれないし、食事も慣れないし、一人暮らしも寂しいし、つらくはなかったのですが、初めての経験ばかりで、大変疲れました。何もしやべりたくなく、何もしたくなくなっていました。授業の時も、一生懸命聞いても、内容が分からなくて、先生の口の動きを見ているだけで、考えもどこかへ飛んでいってしまいました。自信もなくなってしまう、うまく生活できるのだろうかと思いました。そんな時、先生方は家族のようにいろいろやさしく教えてくださいました。チューター(留学生の世話をする学生)の人達も何でも手伝ってくれて、本当に助かりました。特に担当の先生は勉強だけでなく、日常生活もお父さんのように面倒を見てくださって、とても感激しました。そのおかげで、生活にも早く慣れてきて、都留での留学も楽しめるようになりました。

大学で勉強すると同時に、都留市民との交流によつて、日本人の生活、風俗、習慣などをほんのわずかですが、覗くことができました。市民の皆さんはやさしくて、とても素朴です。地元に住んでいる先生の家を訪ねた時、初めて日本風建築を見て、その構造、飾り



屋台のお隣子に加わって太鼓をたたく陳暢さん(写真右)

つけ、さらに庭を親切に説明してください、日本食のごちそうまでも作っていただいで、楽しかったです。そして、神社のお祭りの時には、市民の方々がつれていってくださり、見物しながら詳しく話してくださいだったので、いい勉強になりました。

特に、私の勉強と日本に対する理解を促したのは都留市の八潮祭りを体験したことです。大学の事務局長さんのおかげで、地元の子ども達と一緒に太鼓の練習に参加しました。このいいチャンスで日本の伝統的な太鼓を習いながら、いろいろな人に出会い、交流によつて日本人と日本人の生活に対する理解を深めることができたと思います。そして、盛大な祭りを通して、日本の民族文化を身をもって経験したことは中国ではいくら努力しても得ることのできない貴重な体験でした。

半年の学習と生活によつて、都留市の人、物にも大分慣れました。人々の協力によつて違いを教えてくださいました。今人間交流の真の意味を悟りました。それは愛です。私と都留市の人々のように、日本人であろうが、中国人であろうが、言葉にかかわらず、民族にかかわらず、愛があれば、やさしく接すれば、人間のコミュニケーションがきつとうまく進められると信じています。私はこれから愛に溢れて、笑顔で残りの半年をもっと豊かにするように努力して、学んでいきたいと思っています。

ネイチャーセンター ガイド (20)

夏の暑さを少し残しつつ、朝、晩に秋の香りをほのかに漂わせていた9月、皆さんいかがお過ごしでしたか？
センターでも秋という季節を皆さんに存分に味わっていただくとう企画した展示・イベントが目白押しです。お楽しみに…。

●1階展示フロアでは…
こんな展示コーナーができあがりました。

【おすすめ！ムササビの観察】
都留市でムササビを知らない人はいないほど、とってもポピュラーな野生動物です。ムササビも変わりゆく自然環境の中、知恵をしばって暮らしているようです。そんなムササビたちの暮らしぶりを市民の皆さんからの情報をもとに作りあげました。(ムササビに関する質問や疑問もたくさん受け付けています。)

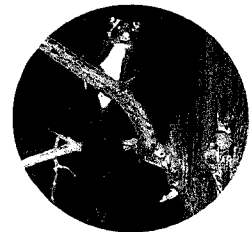
【～きのこの山・たからの山～】
きのこの見分け方、食べ方、写真の取り方などなど、きのこ三昧の展示です。また、これまでふれあいの里で確認されたきのこのデータを収集した「96、97、98年のふれあいの里版きのこ図鑑」も提供します。

●フィールドでは…
【ムササビタワーでのできごと】
センターがオープンして6年、ようやく森のサテライトにある巣箱にムササビがすみはじめました。
9月5日(日)、作業をしているとムササビが巣箱から顔を出しました。以来、ムササビの行動を日記につけたり、カメラにおさめたりと観察をつづけています。

連絡・問合せ先
都留いきものふれあいの里
ネイチャーセンター ☎(45)6222



食べれる
でしょうか？
テングダケ(毒)



ムササビを見にきてね！